

心といのちを守るシンポジウム ひろしま2024

「みんなが生きやすい社会に向けて
良き隣人としてのアプローチ」

申し込み不要
入場無料
(先着150名)

2024年9月14日(土)

開場 午後1:00 開演 午後1:30

会場／

広島市総合福祉センターホール

(BIG FRONTひろしま5階 広島市南区松原町5-1)

要約筆記
手話通訳付き

10代を中心に広がっている市販薬乱用に伴う薬物依存、スマホ普及の弊害として増加しているゲーム依存、その他ギャンブル依存、アルコール依存などが社会問題になっています。なぜ、こうした特定の物に頼ってしまうのでしょうか。

困った時、家族や周りの人たちに「助けてほしい」と声を上げられたら、特定の物に依存したり、一人悩み続けた自死に至ったりすることは少なくなると信じてやみません。

本シンポジウムでは、誰もが困ったり、淋しかった時に「助けて」と言える当たり前の社会になってほしいと願い、人が人に頼れる社会を目指して、私たちができるアプローチを共に考えてみたいと思います。

13:30 講演

薬物・ギャンブル・ゲーム・アルコールなどの
さまざまな依存症を理解し、その支援を考える



講師 (医)せのがわ・よこがわ駅前クリニック医院長
加賀谷 有行 先生(博士(医学))

(プロフィール)1987年03月 広島大学医学部卒業
1992年03月 広島大学大学院修了
1999年10月 広島大学医学部精神科講師
2002年04月 広島国際大学教授
2016年09月 瀬野川病院KONUMA記念依存とこころの研究所所長
精神保健指定医・広島県アルコール健康障害サポート医(専門)



シンポジウム「私たちにどんな支援ができるの？」

シンポジスト 坂井 裕子(さかい ゆうこ) 全国ギャンブル依存症家族の会
黒田 幸喜(くろだ こうき) アルコール関連問題を考える会「だるまの会」会長
コメンテーター 加賀谷 有行(かがや ありゆき) (医)せのがわ・よこがわ駅前クリニック医院長
コーディネーター 樋口 啓子(ひぐち けいこ) 広島いのちの電話 理事

誰もがなる可能性のある依存症、さまざまな回復の仕方があることでしょう。一人で抱え込まないように、さまざまな周囲の支援が求められます。シンポジスト、それぞれのお立場から提言を頂きながら、その支援について進めてまいりたいと思います。



問い合わせ先 広島いのちの電話 事務局

〒730-0013 広島市中区八丁堀7-11広島YMCA内

TEL(082)221-3113 FAX(082)221-6778

主催:広島市 広島市教育委員会 社会福祉法人広島いのちの電話

